

## 2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(夜間部)	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	放射線安全管理学 I	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年次	学期及び曜時限	前期	教室名	第3校舎 901教室
担 当 教 員	吉田 昌裕	実務経験とその関連資格	近畿中央胸部疾患センターで診療放射線技師として従事した。 滋慶医療大学院大学修士課程修了。医療安全管理学修士		
《授業科目における学習内容》					
放射線管理学分野では、放射線安全管理に対する基本的概念、被ばく管理、防護の目標と線量限度、各種被ばく管理について学習する。さらに新たな専門用語を理解するために、国際放射線防護委員会2007年勧告(ICRP Publication 103)で用いられている新しい用語についても学ぶ。					
《成績評価の方法と基準》					
筆記試験(100%)					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
教科書:放射線概論 第12版 柴田徳思 編 通商産業研究社					
《授業外における学習方法》					
指定した教科書を事前に読んでおくこと					
《履修に当たっての留意点》					
基礎的な内容からやや高度な内容までを授業します。授業に関する疑問、質問は遠慮なくしてください。					
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	放射線防護の目的・行為の介入について理解し説明できる。	教科書 他	予習、復習は欠かさずしておくこと
		各コマにおける授業予定	放射線防護の目的・行為の介入		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	行為の正当化・防護の最適化・個人の線量限度について理解し説明できる。	教科書 他	予習、復習は欠かさずしておくこと
		各コマにおける授業予定	行為の正当化・防護の最適化・個人の線量限度		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	放射線防護に関する被ばく線量を説明できる。	教科書 他	予習、復習は欠かさずしておくこと
		各コマにおける授業予定	放射線防護に用いられる諸量		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	放射線被ばくの種類と防護について理解し説明できる。	教科書 他	予習、復習は欠かさずしておくこと
		各コマにおける授業予定	放射線被ばくの種類と防護		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	外部被ばく測定・内部被ばくの測定について理解し説明できる。	教科書 他	予習、復習は欠かさずしておくこと
		各コマにおける授業予定	外部被ばく測定・内部被ばくの測定		

